



もし、あなたが首相だったら？

七月六日、気象庁は最初の大雨特別警報(数十年に一度の豪雨)を発令。ところが、安倍首相が対策本部を設置したのは八日。訪欧を中止したのは九日。つまり、それまでは訪欧する積もりだった。アベは特区制度を曲げて友達の獣医学部新設に百億もの公金を注ぎ込ませた。森友には百万円(支出先の報告も領収書も要らない内閣官房機密費から?)渡し、妻は名誉校長。こういう事には国費を浪費。

十日、参院内閣委はカジノ実施法を審議。カジノ担当は国土交通相。「災害は無視、ばくちに専心国交省」各地では土砂崩れ、河川の氾濫で住民からの救助要請。消防は手が足りな

い。水没地域の病院では電気も水も食料もなくて孤立。自衛隊は少々水没した道でも走れる戦場用の車を持つ。建設機械も沢山持つ。各消防署に自衛隊の人員機材を配置したら、沢山の人命を救えたのでは？海上自衛隊が持つ四隻の大型ヘリ空母も救援に使える筈。

防衛省は高性能の人工衛星を持つ。しかし、その画像は見せない。十日のテレビでは専門家フランスの衛星画像から土砂崩れの危険性を指摘していた。

自衛隊が他国に戦闘に出かけるのは憲法違反。自衛隊員も反対だろう。しかし、巨額の予算を使う自衛隊がその機材、人力で国民を助けるのは自衛隊員も希望する事。

もしあなたが首相だったらどうしますか？

於茂登岳

沖縄県石垣市宮良から

二〇一八年六月



沖縄県最高峰は石垣島の於茂登岳。標高五二五mで日本アルプスの山々とは比べものにならないが、絵のように雄々しき姿を現している。

この絵を描いたのは石垣島のほぼ中央。ゆったりとした起伏。緑の多さ。イタリアのトスカナ地方の丘の上に立ったような気分がする。

絵の中央より少し右の黄緑のカーテンに覆われている所は底原ダム。堤体長は日本一の島の三五平方キロの農地を灌漑する。

この用水で稲、パイナップル、サトウキビなどが栽培されている。

沖縄地方は本土に比べ気温が高い。それで土壌の細菌などの活動も活発。落ち葉などもすぐ分解される為本土のような黒土にはなりにくい。それで赤土が現れる。

